



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries of District 276
ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE
ロータリアン--奉仕に結束-平和に献身

TORU TANAKA
GOVERNOR 1987-88 DISTRICT 276
OFFICE : HANDA ROTARY CLUB
1-1-1 GINZA-HONMACHI HANDA JAPAN TEL.0569-21-0302 FAX.0569-22-4833

田中 徹
国際ロータリー第276地区 ガバナー1987-88
ガバナー事務所: 〒475 半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内
TEL. 0569-21-0302 FAX. 0569-22-4833

NO.2

昭和62年 7 月20日

田中 徹





ミュンヘン世界大会 あれこれ

ガバナー 田中 徹

この世界大会には112ヶ国より25,000名が参加、東京大会に次ぐ史上二番目の盛大な大会であつたが、何と言っても話題となったのは史上初めての女性ロータリアンの参加であった。アメリカ・カリフォルニア州サンタモニカRCのエスター・ジョンソンさんがその人である。職業分類はService Club ManagementでサンタモニカRCのピアニストを勤め、その後10年に亘ってExecutive Secretaryを勤めている。

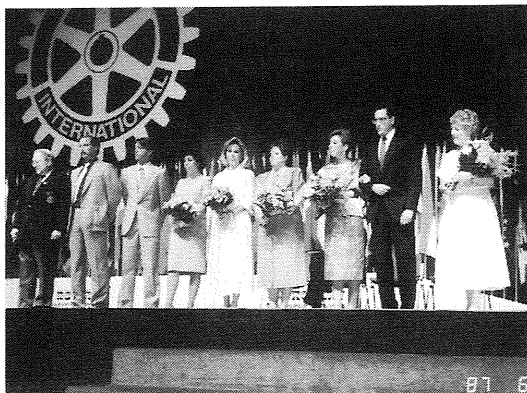


6月7日(日)の開会式に先立ち大会事務局に地区内クラブから委任されてきた投票代議員の手续をとる。次いで日本支局の抽冬支局長に会い色々とおアドバイスを受ける。広いオリンピック会場を傘をさしながら歩くのは大変であった。

開会式はアルファベットの頭文字A~KまでとL~Zまでの2回行なわれM. A. T. カパラス会長が次のようなメッセージを読み上げられた。

「第78回国際ロータリー年次大会によくご参加下さいました。この大会は友人と交歓するまたとない機会であり、ロータリーにおける奉仕活動が友情を育む強力な媒体であることを思い出しています。互いに協力し全人類にとって有益な活動をするのに絶えず新しい方法を探求することはロータリーの伝統となっています。こ

の大会はロータリアンであることの意義、即ち親睦と奉仕活動の感動的な体験を味わう国際的な祭典であります。



皆さんのミュンヘンにおける滞在が実り豊かな思い出に満ちたものでありますように家内と共に祈り致します。」

6月8日(月)の本会議でキワニス・インターナショナルのフランク・J・ディノトー会長が挨拶されたがキワニスは昨年だけで社会奉仕活動に7,350万ドルの募金をしたと言う。ちなみにドイツは47のキワニス・クラブと1,174名の会員がいる。



6月9日(火)第三回本会議で文盲追放に貢献されたランフェリー伯爵婦人が国際ロータリー理解賞を受賞された。この夜、世界親睦のための晩餐会が8ヶ所の会場に分かれて開かれ私達夫婦は幸いにも宿舎のホテルが指定され、M. A. T. カパラス会長夫妻、チャック会長エレクト夫妻の挨拶につづいて余興ありダンスあり楽しい刻を過ごした。



1987—88年度のための

第276地区 地区協議会

実行委員長 中村繁男



国際ロータリー第260地区の分割が決定し、愛知県は第276地区として新しい年度を迎えることになった。1987年4月26日（日）、小雨そぼ降るなか、60クラブ738名のロータリアンは期待に胸をふくらませて、岡崎市民会館へ集った。かえりみればこの会場で第360地区（当時）の地区協議会がおこなわれたのは1968年6月23日であった。時のRI会長エレクトは東ヶ崎潔氏、ガバナー・エレクトは故小田切貞夫氏であった。この協議会は愛知・長野両県が第360地区として出発したばかりで、51クラブ287名の参加者は地区の発展を願って熱のこもった討論を行った。その後、第260地区へのナンバーの変更があったが、この20年間にわたる当地区の発展は目を見はるものがあった。新生第276地区の出発にあたり、再びこの会場が選ばれたことは、偶然とはいえ、不思議な符合を感じさせられる。なお、1968年の地区協議会では故内藤卯三郎バスター指導のロータリー・コンテストが行われ、田中ガバナー・エレクト所属の半田RCが優勝していることも何かの因縁と思わざるを得ない。

第260地区（愛知・長野）最後のガバナーとして地区分割に尽力された塚田和男氏は長野県における4クラブの創立によって地区内クラブが丁度100クラブになったことを報告された。「昔とくらべ夢の数々が実現したというのに、果たして私たちは幸福になったのでありましょう

か。つまりこれからの科学の進歩が人間をより幸福にしてゆくかどうか、静かに反省をしてみる必要があるのではないかと思います。我々ロータリアンは広い分野における指導的立場の専門職と実業人の集りであります。したがって我々の日常の生活の言動が生きる喜びに輝いているならば、それを社会の人々に分かち与えるべきではないでしょうか。」塚田ガバナーの参会者一同への問題の提起である。



田中 徹ガバナー・エレクトはナッシュビルの国際協議会での研修の成果をわかりやすく説明、我々の年度はロータリー史上最も多忙な年になる。ポリオプラス、ロータリー・クラブにおける女性の問題、会員増強の課題、ロータリーの拡大の問題、青少年問題等々、ロータリーが直面している問題の数々に触れ、1987-88年度のテーマ「ロータリアン——奉仕に結束—平和に献身」に向かって力強く前進しようと提言された。

「私どもの年度は新しい地区の第一歩でございます。古壺新酒、古いつばに新しい酒を注ぐの気持で、ロータリーの心を大切に奉仕に一層おつくりいただくよう祈念します。」と結ばれた。

参会者の皆さんは雨の中、用意されたバスとタクシーで分科会場へ散った。



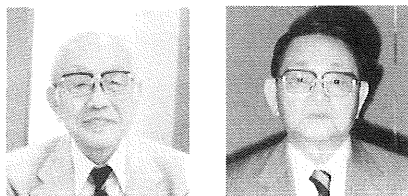
米山奨学委員長交代

奥谷博俊 P G を指名

地区米山奨学委員長の安野譲次君（一宮 R. C.）はかねてより辞意を表明しておられました。7月11日の第1回地区諮問委員会にて正式に受理されました。後任は奥谷博俊君（尾張旭 R. C.）に決まりました。

安野譲次君は昭和42年勲ロータリー米山記念奨学会の常任理事に就任され、昭和54年からは副理事長として、また昭和57年からは地区米山奨学委員長も兼任して頂いていました。なお本部役員は今後も務められます。

長い間ご苦勞様でした。



米山奨学会理事に

奥谷 P G を推薦

勲ロータリー米山記念奨学会では8月に開催される定時評議員会において、理事の選任が行われます。第276地区より理事の候補者を1名推薦して欲しいとの連絡があり、第1回地区諮問委員会にはかった結果、奥谷 P G を推薦することに決まりました。

地区史の編集順調にすすむ

地区史編集委員会（委員長 安野譲次君）により精力的に進められている地区史の編集は最終段階に入り、本年10月刊行を目標に努力致しています。本誌には各クラブの頁が1頁あり、第276地区の分割に際し刊行される本誌は大変意義深いものと思われまますので、是非座右にお備えになるようお勧めします。なお、編集委員会では、今後の新入会員の分も考えて、1987年7月1日現在の会員数の10%増の部数を各クラブでご購入頂くことを希望していますので、宜しくご協力の程をお願いします。

「意義ある業績賞」

選考委員決定

7月11日第1回諮問委員会で1987-88年度、第276地区の選考委員が下記の通り決まりました。

委員長 福田浩三（名古屋空港）
奥谷博俊（尾張旭）
大隈孝一（名古屋）
田中 徹（半田）

「意義ある業績賞」に応募を

毎年、ロータリー・クラブの意義ある業績を表彰するプログラムについては、地区ガバナーが受賞クラブを選び、R I 本部へ報告しています。

本年度の「意義ある業績賞」プログラムを下記の要領で募集致しますので、積極的にご参加下さい。

選定規準及び手続：手続要覧1986年版

P. 41-42をご参照下さい。

申請書提出締切：11月末日必着

書式は自由

申請書提出先：地区選考委員会

（ガバナー事務所内）

当地区では、地区選考委員会を12月1日までに開き、12月の諮問委員会で決定します。



オ1回諮問委員会での
直前ガバナーとガバナー



リハビリテーション

世界会議参加の旅費

カンパにご協力を

1988年春、東京で開催される「第16回リハビリテーション世界会議」に発展途上国から障害者が参加するための費用にあてる寄付依頼が、日本障害者リハビリテーション協会よりまいっております。

この世界会議は1929年ジュネーブで開催されてから60年の歴史がありますが、アジア地域では今回初めて開催されます。また国際障害者年(1981年)を契機として、これら発展途上国の障害者への協力は、先進国の緊要な責務であるとの認識が世界的に高まってまいりました。また本会議はポール・ハリスが10年間にわたって会長を務めたそうです。

7月1日に開催されたガバナー会で前年度よりの申し送り事項として検討した結果、第258・275地区は1人当り1,000円、その他地区は1人当り200円を協力することに決まりました。詳細については改めて文書にてご連絡申し上げます。なお、送金の締切は昭和62年12月末日とさせていただきます。

「ロータリーの友」誌上の

地区のたより取材先を

推薦して下さい。

7月1日東京で第1回ロータリーの友委員会新旧合同会議が開催されました。その席上、本年度の地区のたよりの編集につき説明があり、協力を依頼されました。当地区の中で下記の趣旨にあったテーマがございましたら、是非ご連絡下さい。地区ロータリーの友委員長の磯村浩隆君が「友」事務所側と協力して編集させていただきます。

1. テーマ

- ①一地区または数地区にわたる奉仕活動の理論や実態を紹介する。ただし、できるだけ各奉仕に特色があり、他地区の参考または

範となるものが望ましい。

- ②トピックとして他地区にとって珍しい事例。例えば変わった職業分類、夜間例会、ラウンドテーブルなど、例会外の集会、最高年齢会員、地理的に極辺のR.C.等々。

- ③地区のたよりとして、ほほえましく、のたのしい読みもの。例えば「我がクラブの自慢」、かわったクラブの話、珍談、奇談、迷説、北から南からなど、会員が自分の雑誌だなあと思うこと。

2. 掲載予定と原稿締切

掲載予定 1988年1月号

原稿締切1987年10月20日

3. テーマの推薦先

〒440豊橋市花田町石塚42

豊橋商工会議所内豊橋ロータリー・

クラブ内

地区ロータリーの友委員長

磯村浩隆宛

新年度分「ロータリーの友」

英語版、購読のお勧め

「ロータリーの友」英語版は、「友」掲載のロータリー関係、日本文化等の記事を掲載しており、22,000部発行されています。

本年度の「友」英語版は、第27号(冬号)を11月に、第28号(春号)を明年4月に、刊行の予定です。海外の姉妹RCへのプレゼント、クリスマス・カードとしてのご使用、または交換学生へのプレゼント等にご利用下さい。

代金は 1口分(27・28号各1冊)

1,000円(送料込)

津島RCの会長変更

1987-1988年度津島RCの理事・役員に変更があり、会長が変わられましたのでお知らせします。

会長 古川弘一



第276地区初年度の青少年交換

青少年交換小委員会 委員長 木本精之助



年度があらたまって早々の7月3日、ロータリー青少年交換地区委員長会議が、東京a b c会館で開かれました。

日本全国28地区の青少年交換委員会の責任者が集合するこの会議は、毎年7月、12月の2回開かれています。8月のアメリカ、カナダより交換学生の来日、1月のオーストラリア交換学生の来日に備えて、受け入れ計画の具体的準備、調整が、この時機に開催される理由であります。全般的な青少年交換に関する情報交換や積極的な事例の紹介等があって、協議内容は極めて実際的で有益なものであります。

各地区毎に進められている青少年交換の内容は、その改善について、会議の都度切実な情報交換が行われるのでありますが、今回は特に保険について、時間をかけて意見交換がなされました。派遣学生に関しては、余り大きい問題はないのですが、受入学生については、出発前にかけてくる保険が、使い方に厄介なケースが多く、疾病や傷害の発生に際し、保険が速やかに効力を発揮するにはかなりの問題があることが明らかになりました。来日する学生が保険をかけてくるのが前提となっていますが、来日後こちらで適格な保険をかける方法の可否が、積極的に論じられました。その他、受け入れ側の立場の責任賠償保険の活用についても、その必要が考えられました。わが276地区の交換学生の保険活用の状況について、あらためて検討の必要を痛感させられたことであります。

さて、この会議の話題の中心は、8月に来日するアメリカ、カナダ交換学生の受け入れについての協議でありました。本年度夏の交換学生受け入れの規模は、28地区に約140名に上り、8月22日、成田着のNW007便、U A 97便で到着することになりますので、これらの交換学生を受け止めて、全国各地のホスト・ロータリー・クラブ、ホスト・ファミリーのもとに無事に到着させるために、受け入れの大きな奉仕が必要となります。このために、今年も東京及び近県

の地区の委員の方々により、輸送委員会が組織されました。

○成田空港での受け入れ、○地方空港までの乗り継ぎ、○東京での宿泊の有無等々、気の遠くなるような複雑な状況が見事に整理されて準備が整えられるさまには、毎度のこととはいえ敬服させられます。世界的にも有名な成田空港の複雑な乗り継ぎにも困惑することもなく、無事にホスト・クラブに迎えられるために、大きな陰の奉仕のあることはまことに感謝であります。

わが276地区には、今回7名の交換学生を受け入れることになっています。名古屋、名古屋西、名古屋大須、名古屋守山、西春日井、高浜、小牧の7ロータリー・クラブでお世話になり、1年間の留学生活に入ります。成田空港からJ L 53便に乗り継ぎ21日夕刻19時過ぎには名古屋空港に到着の予定であります。快適な空の旅を経験し、好印象をもって留学生活をスタートできるよう祈ってやみません。

一方4名の高校性が8月22日、1年間の留学生活に胸ふくらませてアメリカに出発いたします。これら派遣学生につきましても、名古屋守山、名古屋大須、高浜、小牧の各クラブのこれまでのご尽力に感謝いたします。必ずや稔り多い結実のあることを期待しています。

年度早々の今、一つの大きな課題は1988年に派遣する交換学生の選考であります。既に地区協議会、国際奉仕委員長会議等において繰り返し案内がなされています。地区内各クラブより、是非とも優秀な高校性を推薦頂き、一人でも多くの前途有為の高校性に、価値ある体験を提供できますようご配慮をお願い致します。地区にとっての第1年度、派遣、受け入れそれぞれの交換学生は勿論のこと、関係者すべてが国際交流の豊かな体験を積み重ねる年となりますようお願いしてやみません。



新生276地区は、 まず拡大を

拡大カウンセラー 福田浩三
7月2日、恒例の拡大セミナーが
東京帝国ホテルで開催された。

伊藤義朗 RI 理事 (札幌)
渡辺和美 RI 拡大委 (東京西)
モデレーターは菊地 晤 (桐生南)、
コモデレーターに奥沢俊一(松本南)、佐藤康
晴 (大宮西) の両氏。

全国各地より拡大カウンセラー各1名と、
ガバナー・ノミニニー、拙冬 忠 RI 日本支局長、
山羽同支局員 (拡大の窓口嬢)。

参加全員の自己紹介および地区の現状説明の
後、菊地モデレーターがセミナーの目的、拡大
カウンセラーの役割、拡大手続の検討を懇切丁
寧な資料のもとに説明された。次に拡大の方法
について、大都市を渡辺、中都市を佐野、村を
奥沢 P G が、各々豊富な経験を基にして説明さ
れた。午後は新クラブ結成の諸問題について
のブレーン・ストームで種々な論議が交された。

ついで、拡大と地区分割について、渡辺
(D. 275、6年前分割)、佐野 (D. 257、来年度分
割)、奥沢 (D. 260、本年度分割)、津田 (D. 259、
委員会設置) が発表、続いて、分割にまつわる
秘話を述べよということ、すこし長々と分割
の経過とコツなどを私が述べさせて頂いた。

不思議なことに、クラブ拡大にしても、地区
分割にしても、クラブの長老、パスト会長とか、
パスト・ガバナーが障害であるような発言が多
かった。

なかなか本音の多い、活気のあるセミナーで
あった。私も大いに議論させて頂いた。

奥沢 P G も、お作りになった豊富なデータ
を配付してのご熱弁で、大変感銘を与えた。

新生第276地区は、すべてが白紙であり、これ
からの各位のご努力が期待される。



会員増強セミナー に出席して



地区会員増強副委員長 福田源一
新年度国内会員増強セミナーが去る
7月3日東京帝国ホテルに於いて、堀場モデレー
ター、島津 RI 会員増強委員、渡辺 RI 拡大委
員らの出席のもとに、全国28地区ガバナー・ノ
ミニニー、会員増強委員長が参加して、5時間にわ
たり討議されました。

冒頭、堀場モデレーターより、ケラー会長の
メッセージ「過去数年、ロータリーは他の団体
よりも発展してきたが、会員の増加は新クラブ
が増えたためであり、既存クラブは停滞又は減
少している。これは奉仕の減少でもあり、手放
して喜べない。ロータリーの原則に献身する適
格の会員を増やす必要がある。これが奉仕の可
能性を広げ、さらに新会員の増加につながる。
本年度のテーマはロータリアン——奉仕に結束
——平和に献身です。各地区でロータリーの発展
に向かって前進して下さい。」が披露された。次
いでモデレーターより現況について (86. 6. 22.
現在) クラブ数23,000、会員数1,036,815名 (前
年同比は+21,559名) の報告がありました。

次いで討論に入り、①増強手法について、②
会員増強と退会防止、③地区会員増強セミナー
の開催方針について活発な発言がなされまし
た。本年度、特筆すべきことは、「会員増強、退
会防止の手引」なる増強必携書が発行され本セ
ミナー会場で初公開された事です。近日、
日本支局より各クラブへ本書が1冊ずつ無償配
付されますので、是非熟読玩味して増強にお役
立て頂くようお願い致します。

さて、討論の主体は若い会員の獲得と退会防
止であります。その基本はロータリーをいかに
魅力的且活性的に運営するかにかかっておりま
す。具体的手法についてはセミナーでお話し致
したいと存じますがロータリー綱領の第一は奉
仕の機会として知り合いを広める事です。

今年は我が地区は、分割元年であります。も
う一度初心にかえて、ケラー会長のテーマの
実践の為にも、会員一人一人が自分のベスト・
フレンドを新会員に迎かえ入れる努力をされる
ことをお祈りして私の出席報告と致します。



行事予定

8月1-2日 インターアクト協議会
 ホスト岡崎RC (岡崎)
 8月8日(土) 名古屋千種RC 5周年記念式典
 18:00より記念例会 愛知厚生年金会館
 8月29日(土) 地区クラブ奉仕委員長会議
 (名古屋観光ホテル)

9月1-30日 青少年奉仕月間
 9月12日(土) 西尾張分区IGF
 ホスト 一宮RC (地場産業ファッションセンター)
 9月19日(土) ロータリーの友・広報合同委員
 (名古屋)
 9月20日(日) 尾張第一分区IGF
 ホスト 東知多RC (東浦町文化センター)

10月1-31日 職業奉仕月間・米山月間
 10月2日(金) 第2回ガバナー会 (東京)
 10月3-4日 第1・第3ゾーン研究会
 ホスト 札幌南RC (札幌)
 10月12-15日 アジア地域大会
 (ニューデリー・インド)
 10月18日(日) 小牧RAチャータナイト
 ホスト 小牧RC (小牧)
 10月22日(木) 一色RC 25周年記念式典
 10月24日(土) 第2回地区諮問委員会 (名古屋)

11月1-30日 ロータリー財団月間
 11月7日(土) 東尾張分区IGF
 ホスト 春日井RC (春日井市総合福祉センター)
 11月8日(日) 三河第一分区IGF
 ホスト 田原RC (田原地域文化広場文化ホール)
 11月21日(土) 名古屋第一分区IGF
 ホスト名古屋港RC (名鉄グランドホテル)
 11月29日(日) 名古屋第二分区IGF
 ホスト名古屋北RC (名古屋・産業貿易館)

8月 公式訪問日程

8月4日(火) 豊川宝飯RC
 8月5日(水) 豊川RC
 8月6日(木) 岡崎東RC
 8月7日(金) 名古屋北RC
 8月11日(火) 名古屋RC
 8月12日(水) 瀬戸RC
 8月17日(月) 名古屋東RC
 8月25日(火) 豊山城北RC
 8月27日(木) 名古屋西RC
 8月28日(金) 春日井RC

1989-90年度

ガバナー・ノミニー

候補推薦について

地区内各クラブは1989-90年度のカバナー・ノミニー候補者として適当な人を地区指名委員会(委員長 福田浩三P.G.)へご推薦下さい。この委員会は10月下旬に開催しますので、締切を9月30日必着とします。

ガバナーの資格条件はR.I.細則第13条第5節(b)の(1)-(7)を満たすものであることを要します。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

6月25日 大竹幸雄 (蒲郡R.C.)

7月2日 高橋 久(名古屋港R.C.)

★お詫びして訂正させていただきます。

ガバナー月信No.1、4頁委員会委員名簿

青少年交換小委員会委員 岡田一秀 (岡崎南)
 欠落していました。

世界社会奉仕小委員会委員

(誤) 服部栄一 → (正) 服部英一

青少年活動小委員会委員長

(誤) 小島武雄郎 → (正) 小島武雄